



干潟小だより

第12号

R8. 1. 26

児童数 270名



校訓 拓き 輝き 高め合う 干潟つ子

学校教育目標 考える頭 元気な心 強い体



令和8年(2026年)本年もどうぞよろしくお願ひします

冬休みを終え、子どもたちはそれぞれの思いを胸に、学校生活を再スタートさせています。久しぶりに登校した朝、通学路や廊下で交わされるあいさつ、友達との再会を喜ぶ笑顔からは、新年ならではの清々しさと前向きな気持ちがたくさん感じられました。

今年は干支でいうと「午(うま)年」です。馬は古来より、力強さ、スピード、そして前進の象徴とされてきました。子どもたちが学びを深め、心を育て、夢に向かって駆け出すのにふさわしい一年です。馬にはもう一つ大切な意味があります。それは人と人とのつなぐ存在のことです。馬は昔、人や物を運び、遠く離れた場所を結びました。干潟小の子どもたちが地域や社会とつながり、人々とかかわり支え合いながら成長していくことをしめしているように思います。午年の力強さとつながりにあやかって、私たちも、子どもたちの未来を支えるつながりをさらに深め、たくさんの「笑顔と感動」が生まれる1年にしたいと願っています。

今年も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願ひします。

○まとめの3学期、進学・進級を意識した学校生活を過ごそう！

3学期は、まとめの時期だと言われます。まとめは、次の学年につなげていくための大切な準備期間でもあります。学習面、生活面で自分の成長を振り返るとともに、次の学年でも目標をもってスタートできるように、この3学期しっかりと取り組んでいきたいと思います。



✿春に引き継がれていくもの…

2学期の終業式の後、今まで学校の中心として活躍してきた6年生から5年生に、全校規模の活動準備や運営等が引き継がれました。1~5年生は、6年生に「ありがとうございました」と今までの感謝の気持ちを伝えました。大事な役割を引き継いだ5年生は、今後経験を重ねていく中で、6年生のような頼もしい最上級生に成長してくれると期待しています。そして、その姿を4年生、3年生、2年生…が順番に見ながら成長し、干潟小の伝統が築かれていくのだと思います。



6年教室の廊下には、卒業式までのカウントダウンがはじまっています。残り日数が1日、1日と減っていくのを目の当たりにすると、なんだかとっても淋しい気持ちになります。干潟小にとって本当に頼もしい、本当に立派な6年生…。干潟小のみんなにとって、卒業までの日々が6年生とのたくさんの素敵な思い出で溢れるよう、一緒に過ごせる時間を大切にしていきたいと思います。

干潟つ子ニュース!!

みんなで長縄跳び・短縄跳びにチャレンジ!!

3学期始業式の朝の風景



4年生人権教室をおこないました



5・6年生 ちば夢チャレンジかなえ隊(千葉ロッテ)が来校しました

地震から火災発生を想定した避難訓練をおこないました



日常の授業風景



2026年も
頑張っています!!